

## 南仏事件情報（2015年11月）

### （1）テロ関係

- トゥーロン基地狙われる（11日、ヴァール県）

11日、トゥーロン市で、シリアのフランス人ジハーディストと連携をとり、トゥーロン基地に勤務する兵士の襲撃を企んでいた25歳の男が逮捕された。事件の発端は、男が宿泊していた施設に届いた男宛の小包を受け取った従業員が、破れた小包からトレンチナイフが見えていたことから、これを不審に思い当局に通報したことによる。

- 雷管を所持していた男を逮捕（16日、ヴォークルーズ県）

16日、アヴィニオン市で、複数の雷管を持ち歩いていた20歳の男が拘束された。自宅で陸軍戦闘教本や宗教本を読んで過激化したものと考えられている。

- テロ行為称揚の罪で逮捕（17日、ヴォークルーズ県）

17日、アヴィニオン市で、「イスラム国」を名乗り、公道を監視していた市職員を殺すと脅した27歳の男が、テロ行為を称揚した容疑で拘束された。

### （2）殺人

- 忌まわしい殺戮（10日、ブッシュ・デュ・ローヌ（BdR）県）

6日深夜、マルセイユ市1区の旧港トンネル内で、走行中の車両が銃撃を受け、2人が死亡した。襲撃者は4人組で車両に乗車し、被害者車両を追走し、トンネル出口を塞いでカラシニコフで銃撃に及んだ。これにより、31歳と34歳男性が殺害された。

- アジャクシオ近郊で銃撃（18日、コルス・デュ・シュド県）

18日22時ごろ、アジャクシオ市近郊の路上で、30歳代の男性が銃撃されて死亡しているのが発見された。男性は警備員だった。

- 武器密輸、税関職員が逮捕（23日、ヴァール県）

23日、トゥーロン市で、税関の監視下におかれていた男が、自宅の捜索を受けた際に銃を乱射した。男が使用した銃はM16で、税関職員

1名を射殺、警察官1名を負傷させた後一度は逃走したが、最終的には逮捕された。男の容疑は武器の密輸であった。この銃撃戦は、マルセイユ税関による「コントロールド・デリバリー」（泳がせ捜査）が発端となった。同局は、国外から輸入された「自動式小銃の遊底」が入った郵便物を発見し、これを追跡捜査していた。

### (3) 強盗

- キャンパス強盗が無力化される（5日、B d R県）

5日、マルセイユ市で、3人の未成年を含む4人組の強盗団が拘束された。市内にある監視カメラ映像の解析で身元を特定した。強盗団は、今年7月以降、13区にあるエコール・サントラル周辺で犯行を繰り返し、少なくとも21人が被害に遭った。

- バーに押し込み強盗（28日、B d R県）

28日14時ごろ、エクス・アン・プロヴァンス市西部で、開店中のバーに覆面強盗が侵入してきた。男は銃身の長い銃を持っており、一言も発しなかった。店員はトイレに避難し無事だった。

### (4) その他特異事件等

- ひと晩に傷害事件が連続発生（1日、B d R県）

10月31日から11月1日かけて、マルセイユ市で、複数の暴力事件が発生した。20時ごろ、16区で、警察が22歳の麻薬密売人を拘束したが、その際4人の警察官が負傷した。密売人は700gの大麻樹脂を所持していた。21時30分ごろ、9区で、16歳の少年が2件の放火容疑で拘束された。21時50分ごろ、8区警察署に発煙筒が投げ込まれた。深夜、オーバーニュ市で、22歳男性が放火と委嘱公務員に対する暴力行為で拘束された。

- あわや殺人事件に（8日、B d R県）

8日17時ごろ、マルセイユ市14区で、21歳と22歳の若者が銃撃を受けた。銃撃は少なくとも3発以上で、弾丸は車のボディを貫通して両人の足に着弾した。

- 2つの学校で器物損壊被害（8日、B d R県、アルプ・マリタイム県）

7日深夜、マルセイユ市14区の小学校で放火があった。また、ニース市の小学校では、器物損壊がなされ、3人の未成年が拘束された。

● 爆破予告や脅迫事件（14～17日、B d R県）

14～17日、マルセイユ市各地で、爆破予告や脅迫事件が相次いでいる。国立病院に給食等を配膳する業務用トラックに「パリに祈る」等の貼り紙に怒った覆面の4人組が、運転手の喉元にナイフを突きつけた。地下鉄では、「神は偉大なり。地下鉄をぶっ飛ばす」と叫びながら警報装置を作動させた5人組が逮捕された。在マルセイユ・ベルギー総領事館付近に不審車両が発見され、爆弾処理班が出動した。繁華街で警察官に対して喉元をひっかく仕草をしながら何度も「神は偉大なり」と叫んだ男が現行犯で逮捕された。

● ユダヤ人教師襲われる（18日、B d R県）

18日20時ごろ、マルセイユ市13区で、58歳のユダヤ人教師が襲われ、ナイフで腹と足を切られて入院した。犯人は3人組で、犯行に際して教師に対し携帯電話でモハメド・メラ（注：2012年ミディ・ピレネー連続襲撃事件の犯人）の画像を見せつけた。

● 重火器がガレージから発見される（22日、B d R県）

22日20時ごろ、エクス・アン・プロヴァンス市北東部で、家屋のガレージから手榴弾、カラシニコフ、猟銃、回転警光灯、塗装されたスクーター2台が発見された。同市内の別の家屋では、小銃や弾倉などが発見された。警察は家屋の持ち主を探している。

● 盗難車密売網の摘発（23日、B d R県）

23日、マルセイユ市、エクス・アン・プロヴァンス市、トレット市、サン・ミトル市等において、約120人の憲兵隊による盗難車の密売ネットワークの摘発が行われ、14人が逮捕された。フランスでは、昨年55万台の車両が盗まれ、うち44%が戻ってきた。

● 流浪の民 (Des gens du voyage) が駐車場を占拠（24日、B d R県）

24日昼、マルセイユ市11区の駐車場に、80台近くのキャンピングカーの一団が現れ、240台分のスペースを占拠した。この駐車場は、駅の横にあり、まだ工事の途中だった。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。